

キリスト教研究所をよろしく

橋本 茂

ご承知のように、私たちの大学はキリスト教に基づく人格教育を建学の精神とし、「醒めた目と暖かい心」を持った若者を世に送り出すという使命をもつ大学であります。私たちの研究所は、その性格からして、建学の精神と深く関わっています。私たちの使命は大きいと自覚しています。

私たちは、移り変わる時代状況の中にあって、いかに建学の精神が大学の研究と教育の中に生かされているかを常に検証し、また、時代に即した可能なあり方を探求しなければなりません。この使命に応えるために、私たちはプロジェクト・チームを組み「古代キリスト教とヘレニズム思潮」、「キリスト教主義教育研究」、「日本におけるキリスト教研究」、「キリスト教文化—音楽・絵画・文学—の研究」が行われています。また、創立以来、建学の精神がいかに具体的に生かされてきたかを、「明治学院と宣教師たち」、「賀川豊彦研究」、「田川大吉郎研究」によって、多面的に明らかにしようとしてきています。

また、私たちの研究所は、キリスト教に関する知識を広く提供する義務をも負っています。そのために、キリスト教に関する基礎的な参考文献・資料の案内を行うとともに、近年著しく進歩したキリスト教古典テキストのCD・ROM版を購入し、整備充実に努力しています。

これらの研究活動は、一般教育部、文学部、経済学部、社会学部、法学部、国際学部に所属する26名の所員と大学外からお招きした2人の研究員と11名の協力研究員によって行われ

ています。当研究所の諸活動における、このような異なる専門知識と問題関心を持つ者の間での自由な交流は、問題を全体的な視点から捉えることを可能とさせるという利点を持っています。この利点を積極的に生かして、大学の問題を広い視野から考える研究会を必要に応じて開催し、その成果を機関誌にて公表をしています。

これらの活動を通して、いかなる人も、キリスト教的文化をエンジョイできる大学作りに貢献したいと願っています。みなさまからのご指導とご助言をいただければうれしく思います。

(はしもと しげる 所長・社会学部教授)